

## ～GoTo キャンペーン等の消費刺激策により一部に持ち直しの動き～

宝達志水町商工会では、平成31年3月に中小企業庁に認定された経営発達支援計画に基づき、「地域内の経済動向に関する情報」として、地域内事業者から、経営等に関する悩みや問題点をお伺いしております。今回当商工会経営指導員が令和2年9月から10月にかけて地域内事業者からお伺いした内容を以下の通り取りまとめました。

### ○北陸地域の総合経済動向

令和2年10月21日に中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局が発表した北陸地域の総合経済動向(概要)によると、北陸地域の経済概況は、～一部に持ち直しの動きがみられるものの、低迷している～とあります。その資料に示された項目別の今月(令和2年8月指標を中心として)のポイントを以下に示します。

＜生産＞

鉱工業生産指数は、季節調整済指数で86.5となり、前月比1.9%増と2か月連続で上昇した。上昇に寄与した業種品目は、(1)電子部品・デバイス工業の「電子部品」、(2)窯業・土石製品工業の「陶磁器・同関連製品」となった。生産用機械工業、金属製品工業、繊維工業は弱い動きとなり、電子部品・デバイス工業は持ち直しの動きがみられ、化学工業は引き続き高水準を維持していることなどから、判断を据え置き、2か月連続で「下げ止まり」とした。(前月比：電子部品・デバイス工業+7.8%、化学工業▲10.0%、生産用機械工業▲1.6%、金属製品工業▲1.2%、繊維工業▲0.0%)

＜個人消費＞

商業動態統計は、3か月連続で前年を上回った。スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターは前年を上回ったものの、百貨店、コンビニエンスストアは前年を下回った。乗用車販売は、11か月連続で前年を下回った。個人消費全体では判断を据え置き、3か月連続で「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動き」とした。(前年同月比：商業動態統計(全店ベース販売額)+2.5%、百貨店▲22.5%、スーパー+3.1%、家電大型専門店+6.6%、ドラッグストア+18.1%、ホームセンター+15.2%、コンビニエンスストア▲10.1%、乗用車新規登録台数▲15.8%)

＜雇用＞

求人が求職を上回っている状況が続いているものの、新規求人数は8か月連続で前年を大幅に下回り、有効求職者数は3か月連続で前年を上回り、有効求人倍率も1.20倍と8か月連続で低下するなど、弱さがみられることから、判断を据え置き、4か月連続で「弱含み」とした。

### ○当商工会の経営指導員が地域内事業者からお伺いした内容

**新型コロナウイルス感染症の影響で工事の減少傾向がつづく**

建設業関連

公共事業に関しては、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向であるという声がある一方で、事業者数も減少傾向にあるため、件数自体に影響はないという声もある。民間受注に関しても、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少傾向にある。公共民間共に、元請け事業者から現場作業時の感染防止対策を求められているという声があった。新型コロナウイルス感染症の影響により発生していた資材の納入遅れは徐々に解消されている声が聞かれた。

**GoTo キャンペーン等の政府や町行政の消費刺激策で明暗が分かれる**

商業関連

GoTo キャンペーンで観光需要が回復し、利用者ニーズが少しずつ回復傾向にある。事業者からの需要に関しても、石川県の感染拡大防止対策支援金等により、空気清浄機やエアコンなどの感染防止対策品の需要が増加しているという声がある。また、町行政による消費刺激策(ポイントカード10倍キャンペーンや子育て世代商品券配布等)により、これを機に購入しようとする動きがみられたという声もあった。

一般消費者の購買動向は、新型コロナウイルス感染症の影響により食料品等の生活必需品を優先する傾向がみられている。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により祭礼や法事等の実施を見送る例も少なくなく、消費刺激策の影響が及びにくい業種に関しては依然として厳しいという声が聞かれた。

**GoTo キャンペーン等の政府や町行政の消費刺激策で動きがでてきている**

サービス業関連

宿泊施設は新型コロナウイルス感染症により、不要不急の移動を自粛する動きは継続しているものの、GoTo トラベルによる宿泊の問い合わせが少しずつ入ってきているなど、消費刺激策の効果が感じられる結果となった。事業者から、今後の効果に期待したいという声があった。

飲食店に関しても、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ需要が元通りにはならないが、店内の感染防止対策の実施等により客足は回復傾向にあるとの声があった。また、町行政による消費刺激策(ポイントカード10倍キャンペーン等)は非常に効果があったという声があった。一方で団体客に関しては、地域のイベントや歓送迎会等の中止により、回復はほとんど見込めない状況のようである。

理美容業に関しては、石川県の感染拡大防止対策支援金等により、空気清浄機やエアコンなどの感染防止対策品を購入するなど積極的な投資を実施している一方で、未だ来店頻度を減らしているお客様が多く、以前と比べても、回復の見込みが立っていないという声が聞かれた。

**雇用調整助成金や補助金を活用しながら資金繰りを維持**

製造業関連

製造業は、新型コロナウイルス感染症発生前より需要が低迷している事業者が多く、新型コロナウイルス感染症により状況がさらに悪化している状況である。

8月から9月に入り、末端ユーザーが回復傾向にある事業に携わっている事業者は受注が一定程度回復する動きがみられた。さらに、新規案件の引き合いがほとんどない事業者と受注にはつながらないものの少しずつ新規案件の引き合いや見積が増えている事業者ではマインドに差がつきつつある傾向がみられた。

特に、産業機械や工作機械メーカーは未だ生産調整を実施しており、今後も厳しい対応となることが予想される。

しかし、同業他社の廃業により、その品種だけ需要が純増するなど、新型コロナウイルス感染症により生み出された需要を取り込むことで、売上そのものを増加させるそんな動きもみられてきている。

尚、業種に関係なく、持続化給付金は、小規模事業者の資金繰りを一定程度改善する効果があったとみられる。

以上